

知ってますか？

真田幸村の甲冑は 黒かったんです！

黒



日本一の兵と称えられた戦国武将・真田幸村公。大坂の大乱を駆け巡った彼が身に透けていた甲冑は『赤備え』とされています。しかし幸村公直系・仙台真田氏に伝わる幸村公の甲冑の色は『錆色』。限りなく黒に近い質実剛健な和製南蛮胴具足なのです。一説には、慶長十九年十一月、幸村公が徳川家康に伏撃を仕掛ける際に着用していたものと伝えられています。

大坂落城後、幸村公の次男・真田大八は徳川家の追跡をかくぐり、仙台藩主・伊達

政宗と、その重臣・片倉小十郎重綱によって秘かに養育されます。成長した大八は真田守信と名乗り、伊達家臣となって現在の蔵王町矢附・曲竹地区に領地を賜り、幸村公の血脈を伝える唯一の家柄として代々栄えたのです。

幸村公討死から四百年の節目にあたり、話題の『幸村公の黒甲冑』をはじめとした、幸村公とその末裔ゆかりの貴重資料を特別公開。時の彼方に生まれた『みちのく宮城に伝わる真田の歴史』を掘り起こします。

入場無料

真田幸村公直系・仙台真田氏に伝わる貴重資料、特別公開！

特別展 仙台真田氏の名宝Ⅲ

平成 27 年

【期間】4月10日(金)~7月26日(日) 9:00~17:00

月曜休館 (ただし 5/4、7/20 は開館、5/7 は休館) 4/10 は 11:30 開館

【会場】蔵王町ふるさと文化会館

宮城県刈田郡蔵王町円田字西浦 5 ☎0224-33-2018

【ご注意】

- ・博物館等の常設展示施設ではありません。小規模な展示室での臨時展です。会場面積：約 25 m²
- ・展示品は以下の 15 点を予定しています (諸般の事情により変更となる場合があります)

真田幸村公の遺品 (具足・六文銭旗・采配・軍扇・槍・弓掛)、真田幸村公肖像、五字四半旗、片倉守信君肖像、片倉守信君所用袴絵文箱、真田氏略系、知行宛がいつ、勤功書、大坂冬の陣図、遊明寺陣立図



紙面中央：真田幸村公所用具足 右：真田幸村公肖像 左上：真田幸村公所用軍扇 左下：真田幸村公所用槍 (真田徹氏所蔵)

主催：蔵王町・蔵王町教育委員会

〒989-0892 宮城県刈田郡蔵王町円田字西浦北10 ☎0224-33-3008

共催：蔵王町観光協会・蔵王山麓真田の郷を磨く会

後援：宮城県・(公社)宮城県観光連盟・蔵王町商工会・東日本旅客鉄道株式会社仙台支社